

間。

2名
1月1日までの
引揚し価格に
返還請求権を有しておら

いなる
県制度融資の対応とし

をすべて承認された
その後、懇親会に移り会

卓越した技能者「現代の名工」に県内から4人
が選ばれ、11日の表彰式で厚生労働大臣から表彰を受ける。受賞者は、塗装仕上工の木暮実氏(高崎市)のほか、木製建具



木暮氏



高田氏

が卓越し、最高水準にある現役の技能者を表彰することにより、技能者の地位と技術水準の向上を図るもので、昭和42年から実施されている。今回、全国から総勢150人が表彰される。平均年齢は63・3歳で、最高年齢は87歳、最低年齢は42歳だった。

木暮氏は、長年、建築塗装に従事して培った知識・技能を有しており、

木暮氏(木暮塗装)ら4人

(高崎市)

「現代の名工」決まる

とくに、塗装面に大理石や木目などの模擬模様を描くデコラティブペイントの装飾塗装技法を全国でも先駆的に習得し、現在も同技法の代表的先駆者として活躍している。

同氏は昭和50年に高崎市井野町に木暮塗装を設立し代表取締役就任、現在に至っている。平成元年には全国技能士会連合会長表彰を、同3年に県優秀技能者表彰、19年に日本塗装工業会長表彰を受賞している。昭和26年生まれ、57歳。

高田氏は、長年、木製建具の製造に従事し、と

くに、古くから伝わる高度な技術を要する仕事の1つである組子製作技能に優れている。後進技能者の育成にも尽力し、技能五輪全国大会などでの入賞者を輩出している。

現在は昭和51年に開業した高田木工を営んでおり、平成11年には県優秀技能者表彰、同12年に全国建具展示会豊橋市長賞、同13年に同会住宅資材新聞社長賞、同17年には同会全国建具組合連合会神奈川大会実行委員長賞を受賞している。昭和25年生まれ、57歳。